

令和7年度の教育活動等に対する学校関係者評価

令和 8年 3月 31日

学校法人象山学園象山幼稚園長 秋山斌

学校法人象山学園象山幼稚園学校関係者評価委員会

1. 本園の教育目標

- ・元気で明るく丈夫な子
- ・素直に挨拶ができ友達と楽しく遊べる子
- ・よく考えて伸び伸びと自分を表現できる子

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

安全対策として、災害を想定した訓練を充実させる。

登降園や園バスの乗降、園活動における園児確認を徹底する。

小学校との連携をおこない、教員・園児の交流を継続的に行う。

3. 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

| 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価委員会 | |
|-------------|------|---|------------|--|
| | 評価点 | 幼稚園としての反省と改善策 | 評価点 | 意見 |
| 保育者としての能力向上 | A | 毎週1~2回、子どもの姿について話し合う機会として職員全体で会議を実施している。援助や指導方法の見直しをし、各園児への指導方法に一貫性を持たせている。 | A | 様々な子どもたちがいるので、職員間の連携が必要不可欠になってくる。能力向上のためにも、園内園外問わず、研修を続けていただきたい。 |

| | | | | |
|--------------------------------|----------|--|----------|---|
| <p>保育・教育の計画性 保育・教育の在り方</p> | <p>A</p> | <p>幼稚園教育要領の理解を深め、現実の教育に沿うよう具体的な場面について話し合いをおこなっている。園敷地内にある広い畑を有効利用し、1年間を通して園児が野菜作りに関わって興味を持てるようにしている。栄養士さんに野菜・栄養についての話をしていただき、食への興味関心が薄れることのないようにしている。</p> | <p>A</p> | <p>食育に力を入れ、野菜を育て収穫したものを給食室で調理するなどの様々な取り組みを継続的に行っていることは大変評価できる。家庭では難しいことなので、今後も継続していただきたい。</p> |
| <p>地震防災対策 安全対策</p> | <p>A</p> | <p>夏休みの預かり保育中に津波避難警報が出た。夏休み中だったので、当番の職員のみ出勤していたが、地域に警報が出ると同時に、複数の職員が駆けつけ、避難誘導に加わった。無事に園児を保護者へ引き渡すことができた。園での出欠確認・バス乗車確認・様々な場面での人数確認など、確認を怠らないように注意している。</p> | <p>A</p> | <p>日頃、訓練を行っているから有事の際に避難誘導ができたと思われる。 保護者も園での安全取り組みに関心が高いと思われる。今後もしっかりと取り組んでいただきたい。</p> |
| <p>地域の自然や社会との関わり</p> | <p>A</p> | <p>子育て支援として、未就園児に園庭を開放して自由に遊べるようにしている。園内でのイベントには多くの方に親子参加していただいた。1月の「もちつき」では、地域の方が数多く参加して下さり、普段とは違う雰囲気でも楽しい交流をすることができた。</p> | <p>A</p> | <p>環境が整った幼稚園は地域の子どもが安心して遊びに行ける場所になっていると思われる。近年の子どもたちは、家族や友達以外と接する機会が少なくなっているため、地域の方と遊ぶ取り組みはとてもいい。</p> |

4. 今後取り組むべき課題

子どもの自主性・感性をはぐくむための環境づくりを継続する。
園内での職員研修を継続かつ充実させ、更なる保育の向上を図る。